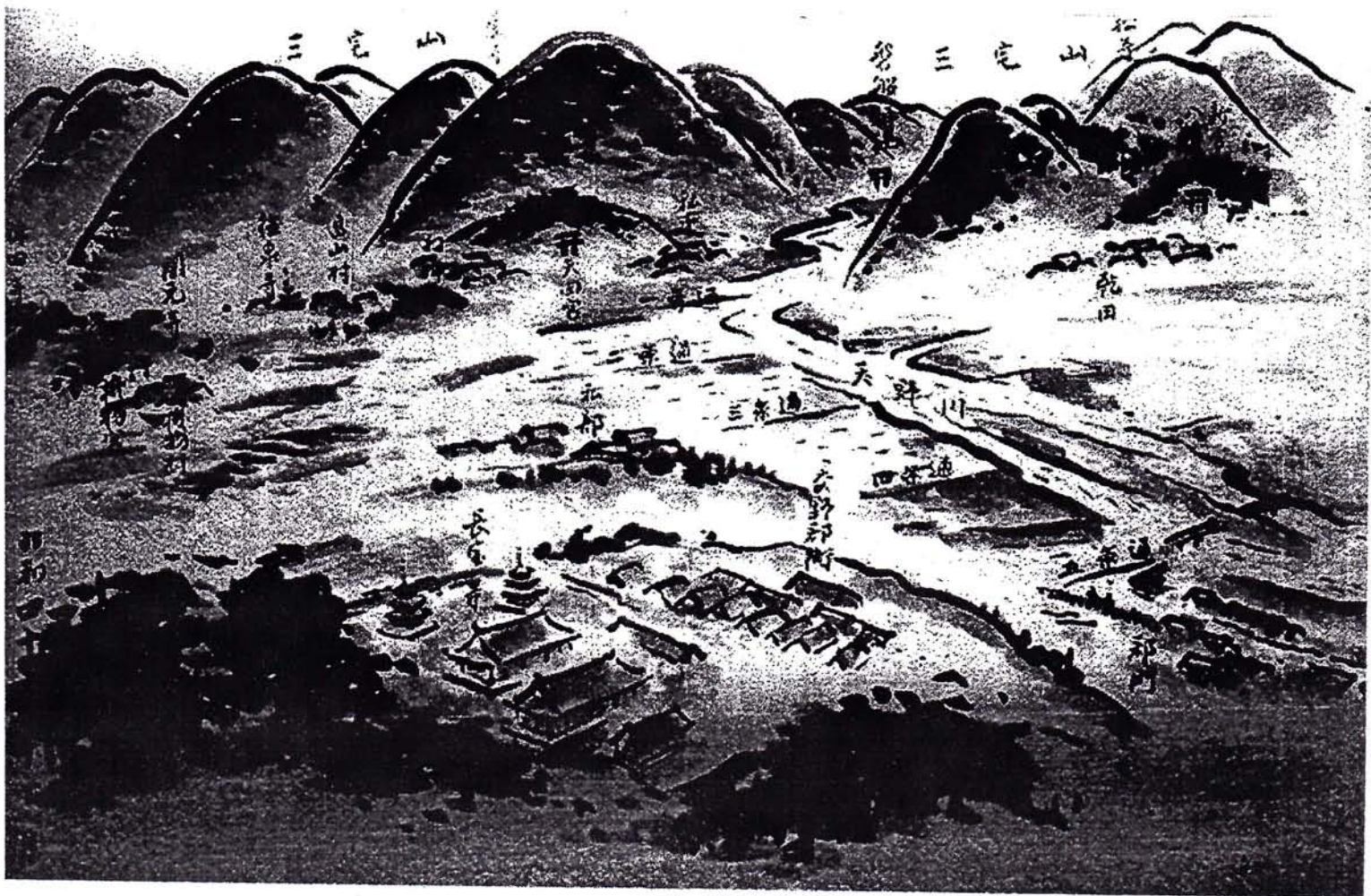


交野古文化同好会

結成40周年記念講演会

古代の天の川と交野台地

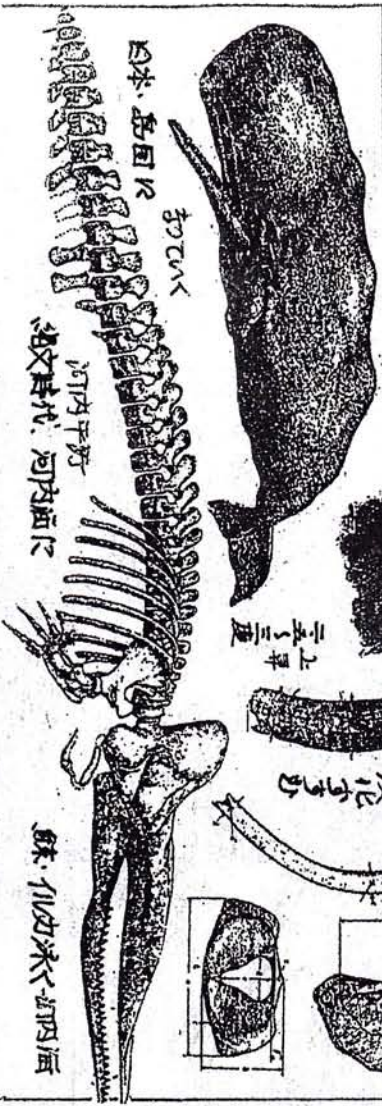
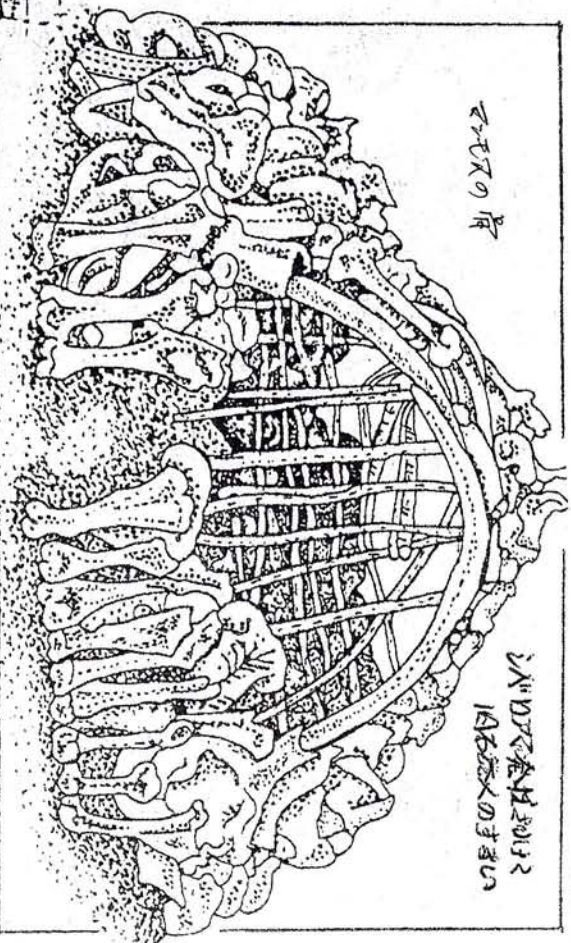
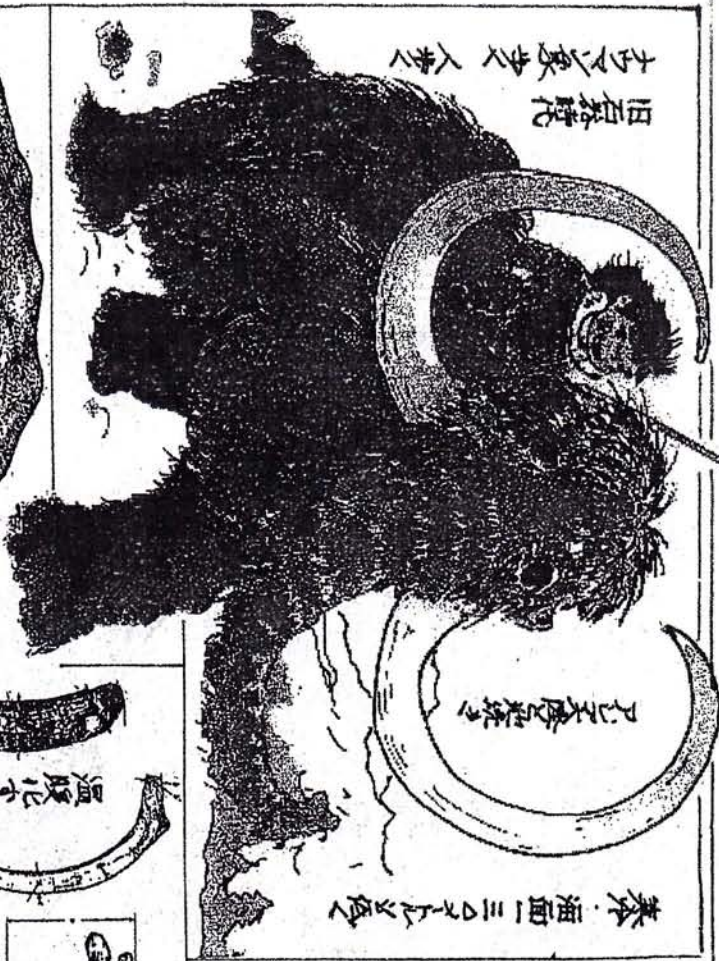
講師 奈良大学名誉教授 水野 正好氏



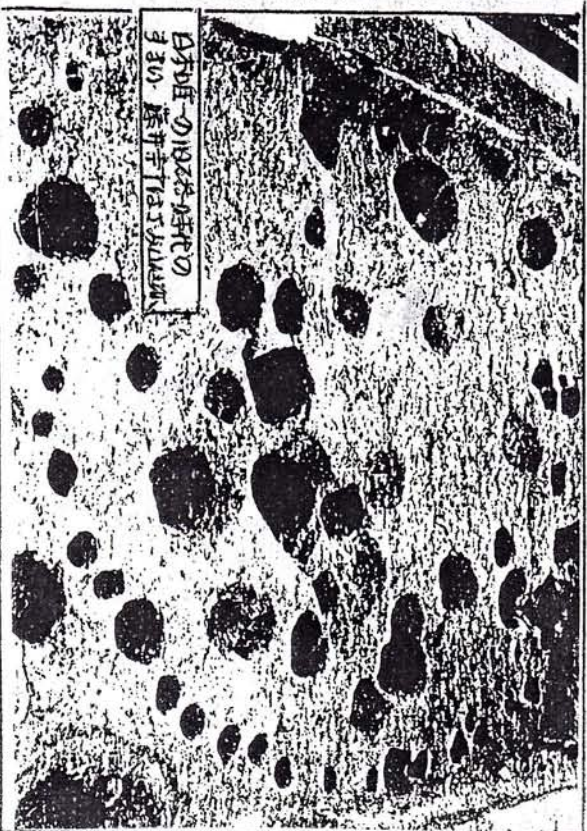
主催 交野古文化同好会

後援 交野市・交野市教育委員会・(財)交野市文化財事業団

1. 交野台地の曙・神宮 赤尾跡の1.5万年前～1万年前の土器 当時は寒冷期サマの骨と人の骨とが在るいは



1.5万年前は寒冷期 海面は下の 瀬方海面は今の 旧瀬方の川の流川と
 上のサマの骨と人から交野台地を通り月果や東北、北海面直人など、人が
 走らわつていゝ、1万年前、気候は温暖期、海面上昇、6000年前は今日より高の。

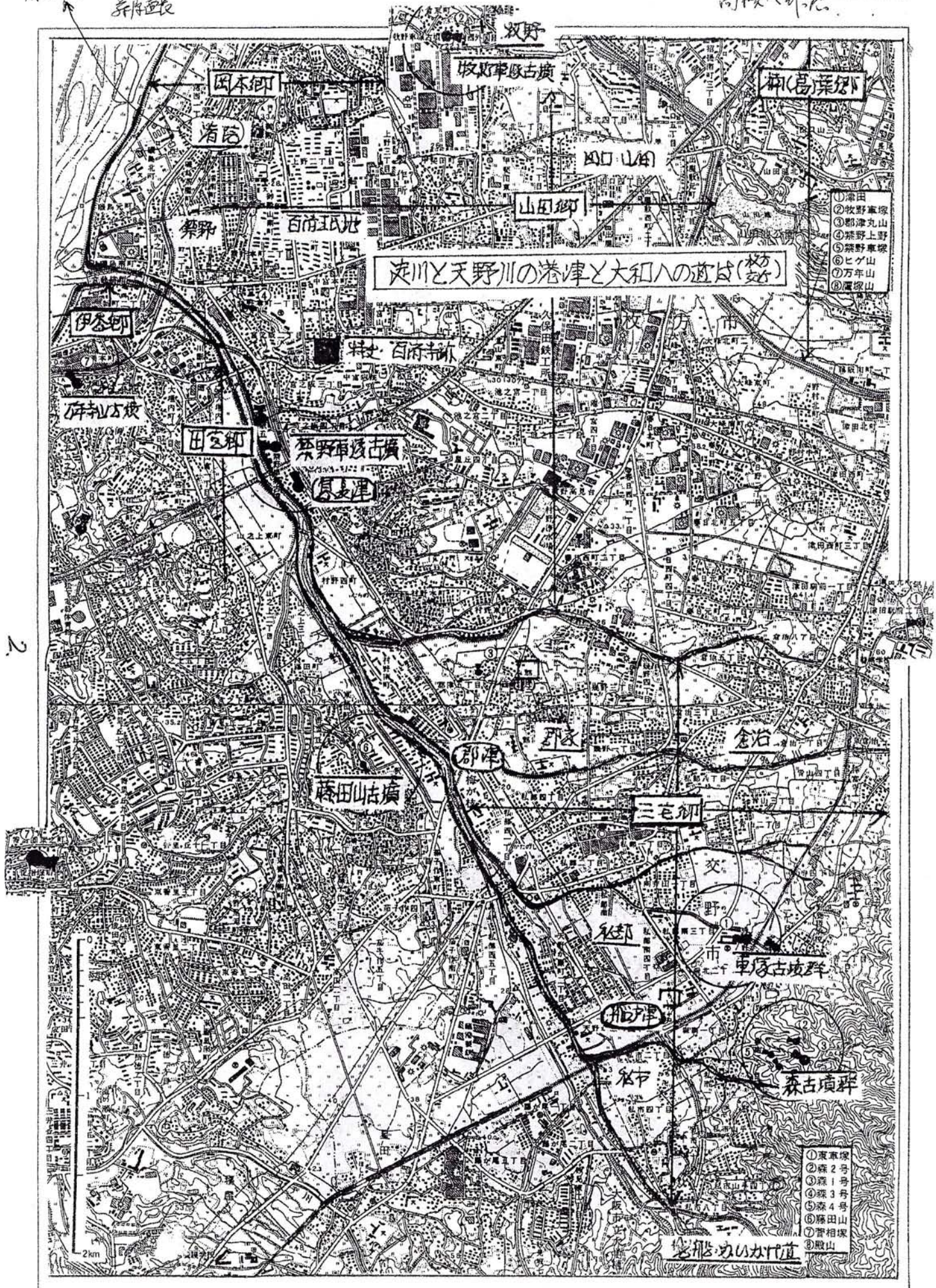


はさか山の... アノ土器を産出しているサマと人の骨の在り

1570年頃の
 菅原氏 住宅
 菅原重長

山口 山田 ... 療養人が住んでた

楠葉 33月21日と病乙
 高槻八幡

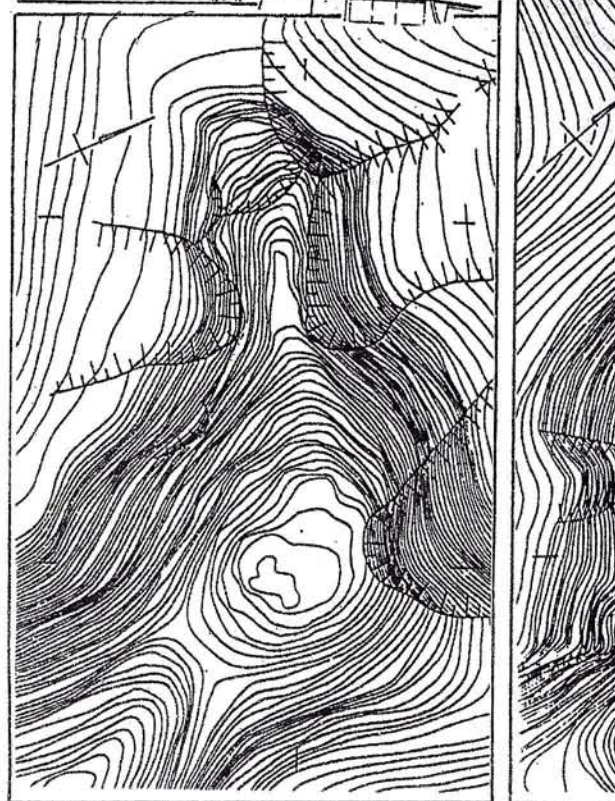
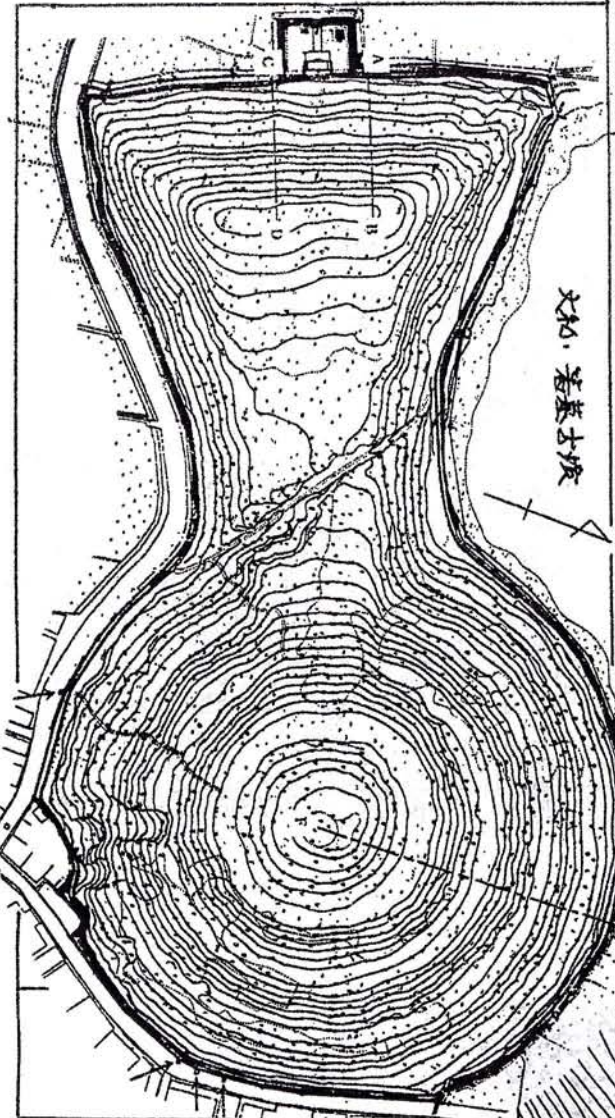
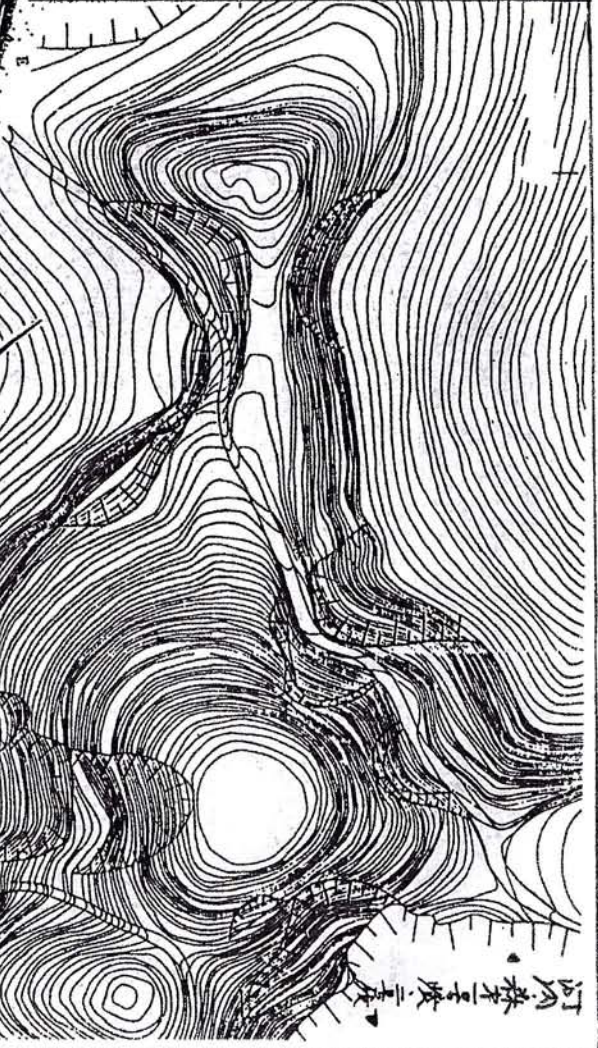
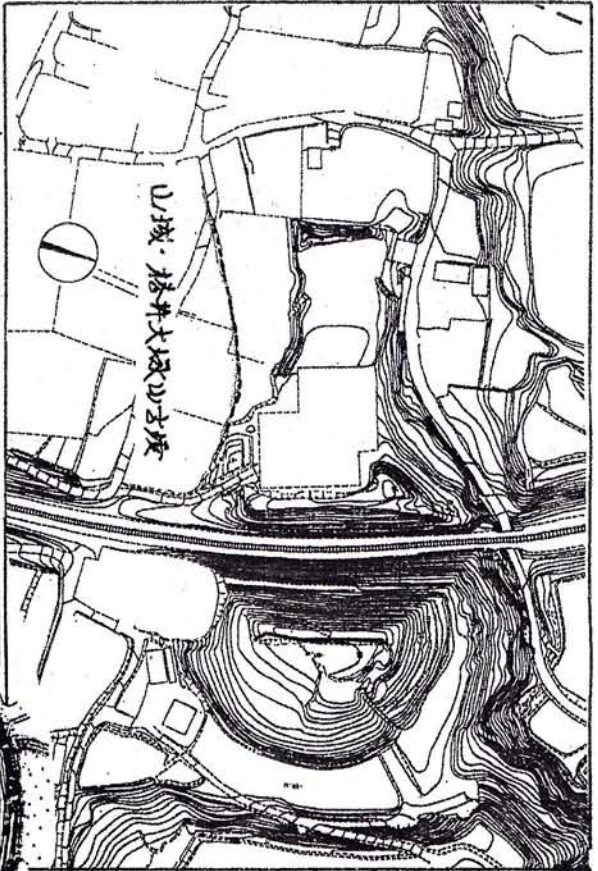


2.

三宅郷 ... 天皇が狩った所
 天皇家の御産

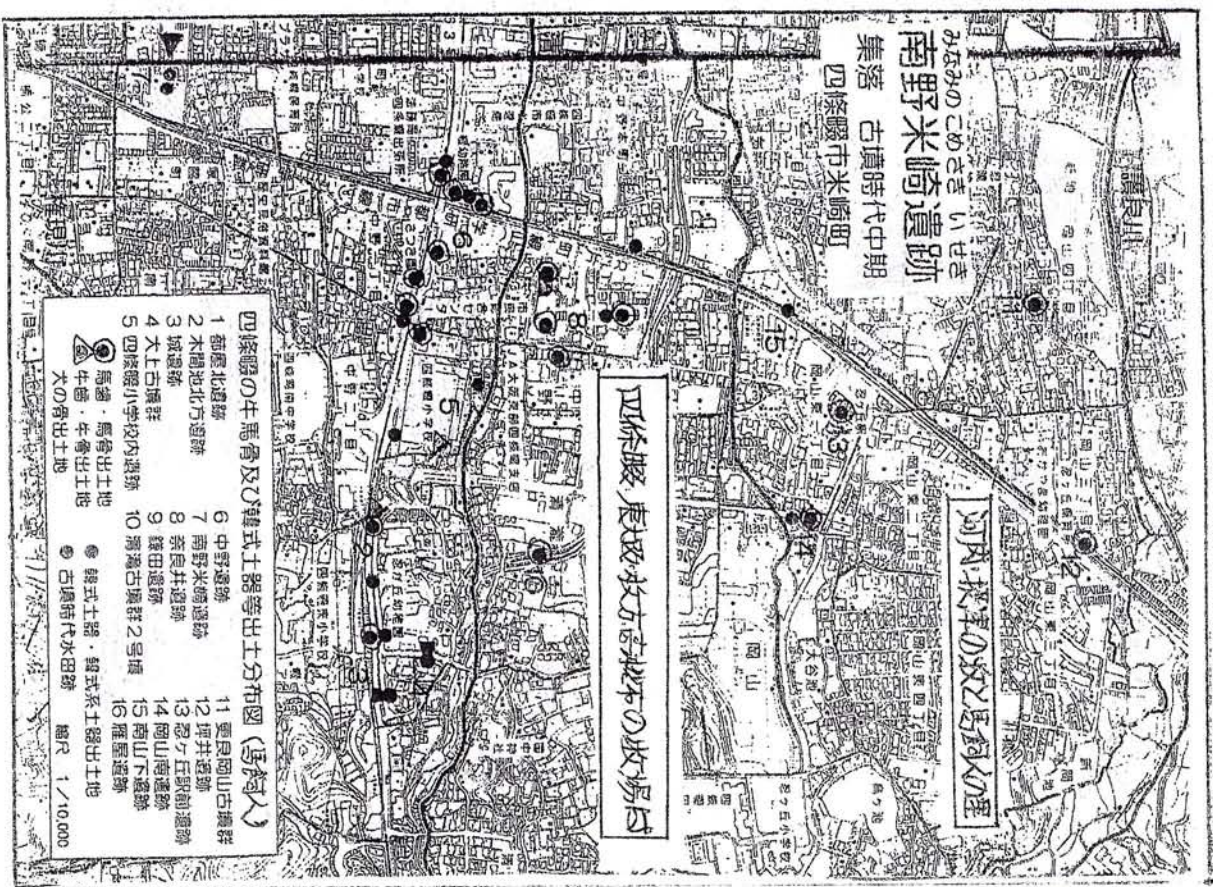
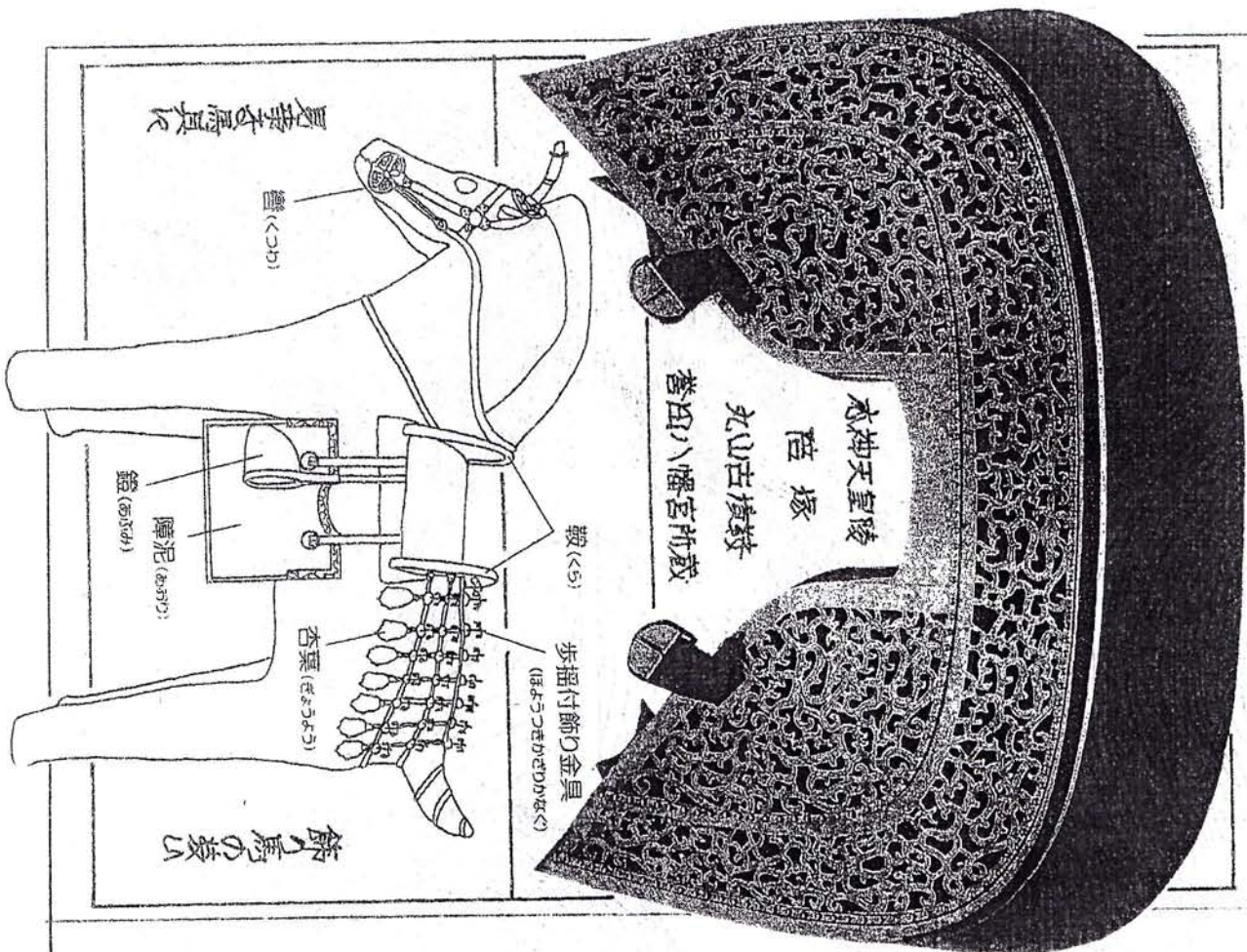
礼部 - 皇宮階下

大和の山頂の道に在りて古虞・前方後円墳、おまじりるころ天野洲の渚・船戸の丸い丸にけり候古虞群・おまじりる



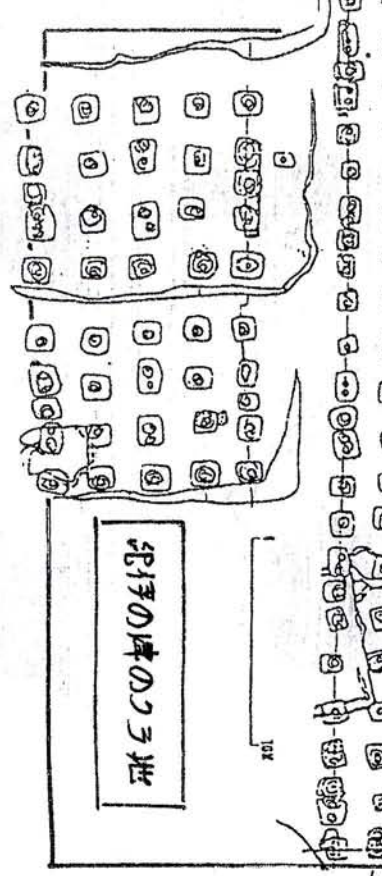
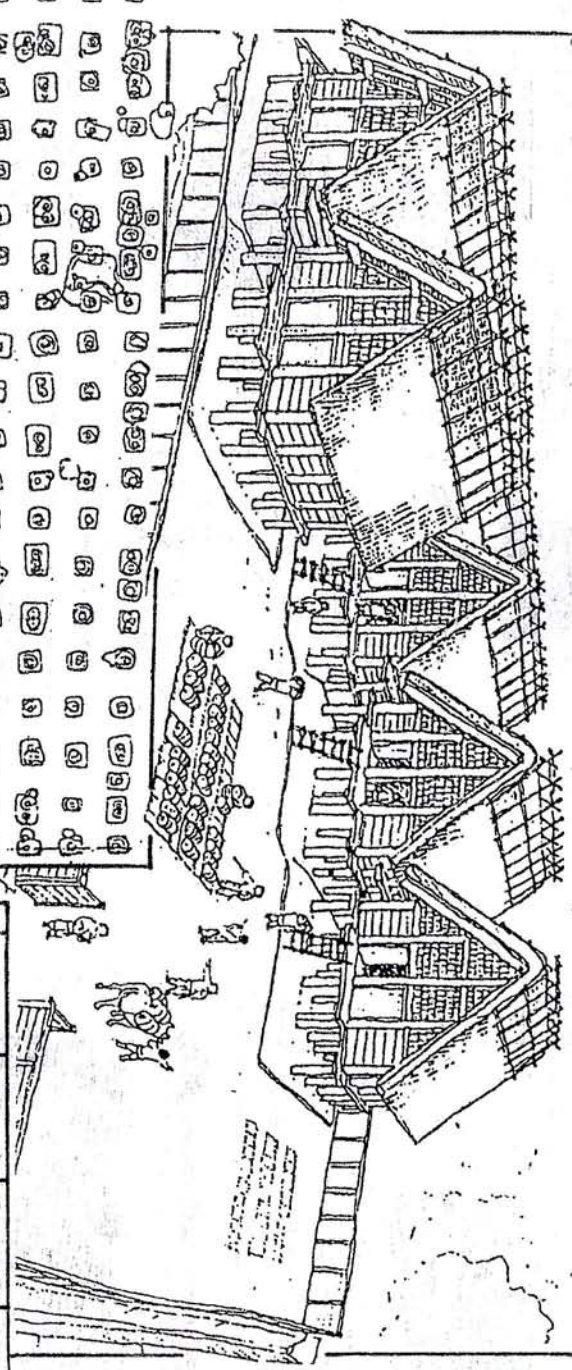
朝鮮半島の百濟支援と新羅征討軍の勝利する

韓馬・牛の飼育、初期の牧馬場は牛・水田内、佐州・甲州入



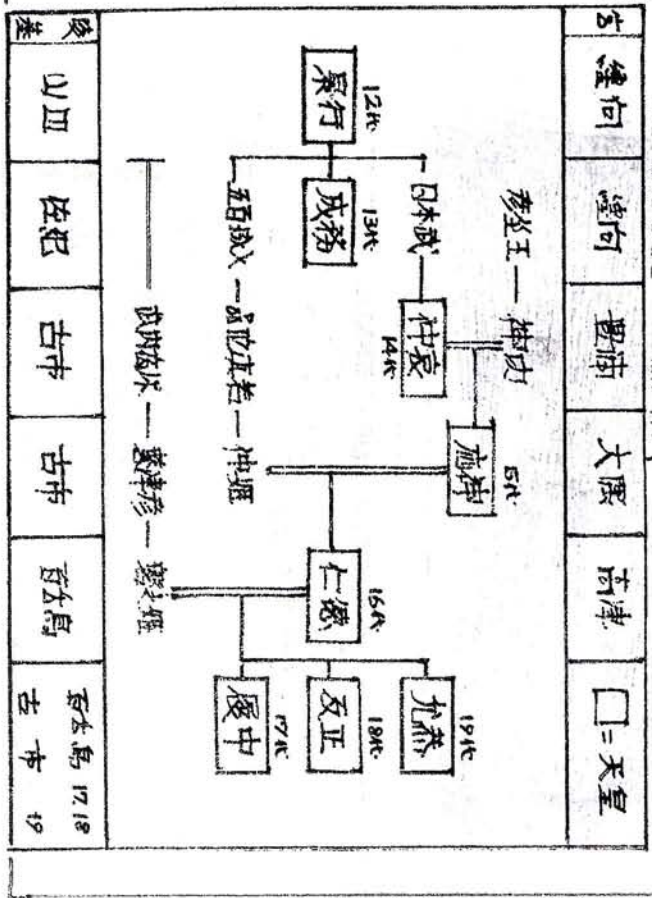
大坂湾岸開発と本神天皇

本神・仁徳天皇 継体天皇の時代は大坂湾 近江水軍の大発揚場 港・津道としての



1. 本神天皇は仲哀天皇・神功皇后の子、仁徳天皇の父。
2. 新羅半島との関係を外交、文物思想流入する
3. 大坂湾岸麻塔、港津開発の進展、促進。
4. 大坂・大船もつろく基幹道路、新市が西へ広がる。
5. 後基2大規模中の1基

時代のイメージ 明治維新の文明摂取・近代化競争の風潮。
 12ヵ所を一面が感じられる。明治天皇の聖3ビ12ヵ所を
 する一面を、その国民の歴史は本神期はまたおしよめた。



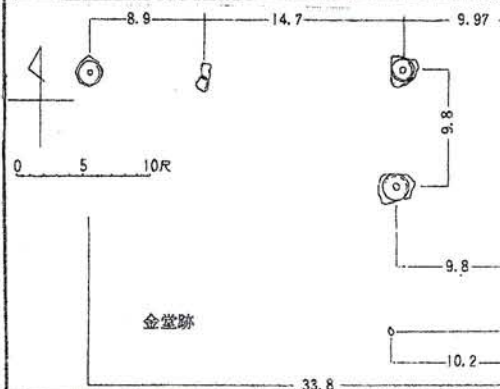
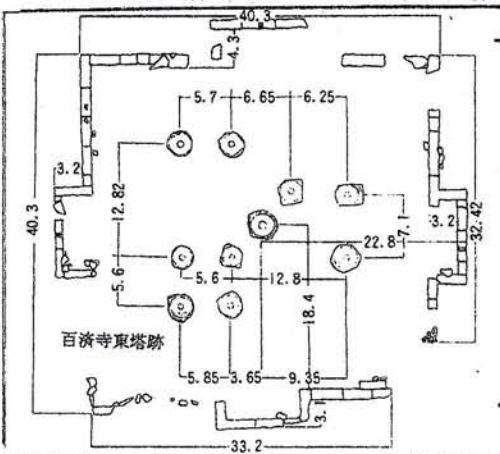
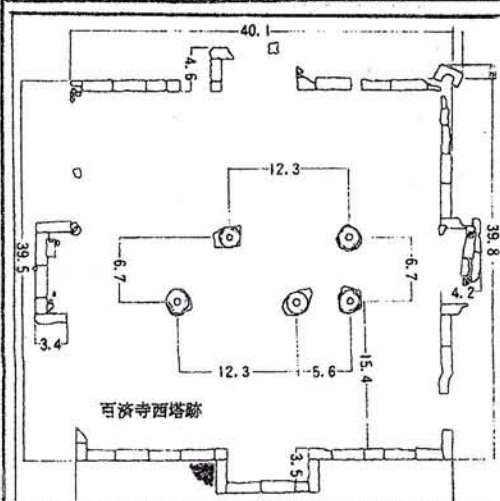
淀川の水面に輝やく藤原氏・百濟王氏の邸宅群と天皇の行幸・祭り・狩り

百濟寺跡 現枚方市中宮西之町

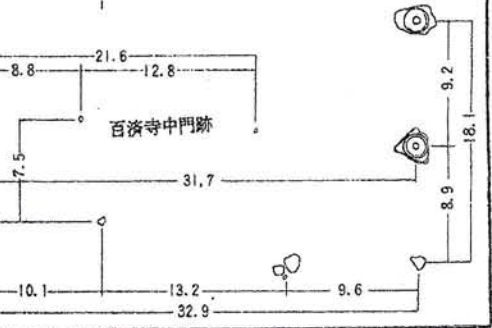
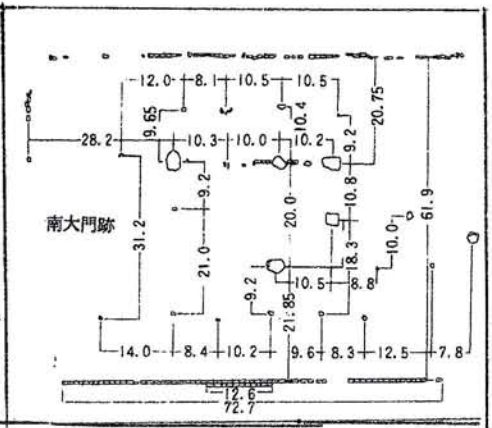
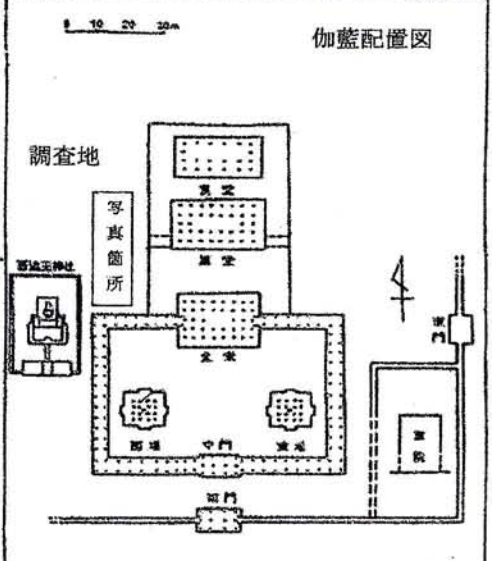
西方を淀川に臨み、南方を天野山に断ち切られた高台地にある。「日本紀」延暦二年（八三三）一月十六日条に「施百濟寺近江縣第二園正統各五十米」とみえる。これは桓武天皇の同月一日の交野行幸に関連する記事なので、交野の百濟寺のことである。「類聚國史」によれば同二年五月一日に魏三〇万と長門・阿波兩國領各一千里、同一七月一日河内國領二千里、弘治五年（八四二）二月二日、同日二月二日に綿各一〇〇屯、同八年二月二日に綿一〇〇斤が各々施入されており、百濟寺の宮寺的な性格がうかがえよう。百濟寺が百濟王氏と深い関係を持っていたことは、前引延暦二年の記事がその前後を百濟王氏への遷階加贈記事に挟まれていることから明らかである。天平宝字二年（七五八）百濟王南典が没したのち、百濟王神社とともに建立されたとする説がある（大阪府遺跡名勝天然記念物）。寺の創建者を百濟王敬福と推定する説（枚方市史）、百濟王明信とする説（枚方市史）があるが、確証はない。後述の発掘調査による平安時代に火災にあって、小堂は維持されたらしく、「百鍊抄」承元二年（八九七）九月に「上皇交野御堂供養」とみえるように、後鳥羽上皇の御幸があった御堂を当寺とする説がある（大阪府史跡名勝天然記念物）。また、嘉吉元年（一四四一）の「興福寺宮務撰疏」には「百濟寺」在、同郡中宮郷、宣教大師開基、遷和州貞清寺建立、開基十八年、末院十八寺、願持三十六人」とある。寺跡の存在は江戸時代より知られており、同内志・河内名所図会、交野行宮跡とする伝承もあった。

発掘調査は二度実施され、昭和七年（一九三三）の調査で寺跡であることが確認された。大阪府史跡名勝天然記念物調査報告（第四組）国の特別史跡となり、同四〇年史跡公園として整備する目的で発掘調査が実施された。その結果、伽藍配置は二塔一金堂式で朝鮮の新羅時代の廃威恩寺に類似すること、礎石は出納式で創建時の瓦は奈良時代前期であること、平安中期頃焼失したらしいこと、一部の瓦は平安京の瓦窯であった吹田市七尾瓦窯のものであることなどがわかった（前掲百濟寺遺跡調査報告）。大阪府教育委員会（一九六五年）現在南門・中門・西門・金堂・講堂・食堂などの基礎と礎石が復原され、容易に全容が把握できる。

隣接して百濟王神社の
伽藍内に金堂の礎石。



百濟寺の軒先の瓦



百濟寺の洗心塔の礎石